

臨床検査医学

責任者・コーディネーター	臨床検査医学講座 諏訪部 章 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床検査医学講座、睡眠医療学科、心・腎・内分泌内科分野		
担当教員	諏訪部 章 教授、櫻井 滋 教授、鈴木 啓二郎 准教授、小松 隆 准教授、小笠原 理恵 助教、阿保 徹 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義 21.0 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

医学的診断は 1) 問診、2) 診察、および 3) 臨床検査（広義）の 3 つの手法によって得られる情報を総合的に判断して行われる。これらのうち臨床検査によって得られる情報をもっとも客観的であり、しかも常に最新の医学進歩の導入が可能なものである。従って臨床検査医学の学習は現代における医学教育においてますます重要性を増しつつある。

この講義では、臨床検査全般に及ぶ基礎的内容について学び、輸血検査と密接に関連する輸血医療の実際と幹細胞移植、睡眠障害に関する検査についても学習する。

・教育成果（アウトカム）

1. 臨床検査に関する基本的知識を理解することで、患者の病態を把握し、疾病を適正に診断し、治療効果、経過および予後をより客観的に判断できるようになる。
2. 輸血医療と造血幹細胞移植の基本を学ぶことで、適正な輸血・細胞療法を理解し実践できるようになる。
3. 睡眠関連疾患診断の必要な検査について理解することで、適正な睡眠関連医療を理解し実践できるようになる。
(ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4)

・到達目標（SBO）

1. 臨床検査
 - (1) 臨床検査の基準値・カットオフ値の意味が説明できる。
 - (2) 検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率、検査後確率、尤度比）を説明できる。
 - (3) 検査の誤差や生理的変動を説明できる。

- (4) 小児・高齢者の検査値の特徴を説明できる。
 - (5) 正しい検体採取の方法が説明でき、不適切な採取を行ったときの検査値の異常を判断できる。
 - (6) 尿検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (7) 糞便検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (8) 髄液検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (9) 一般細菌の塗抹・培養の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (10) 末梢血液検査の目的・適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (11) 血液生化学検査項目の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (12) 血清・免疫学的検査項目の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (13) 心電図検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (14) 動脈血ガス分析の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
 - (15) 呼吸機能検査の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。
2. 輸血医療と造血幹細胞移植
- (1) 輸血療法の適応を説明できる。
 - (2) 輸血に必要な検査を説明できる。
 - (3) 交差適合試験を説明できる。
 - (4) 血液製剤の種類と適応を説明できる。
 - (5) 輸血の副作用とその対応を説明できる。
 - (6) 造血幹細胞移植の種類とその適応を説明できる。
3. 睡眠検査
- (1) 代表的睡眠関連疾患の種類を学び、その診断に必要な基本的検査について説明できる。
 - (2) 睡眠関連疾患の中でも頻度が高い、睡眠呼吸障害の診断方法について説明できる。
 - (3) 簡易型睡眠呼吸検査装置*の役割について説明できる。
(*終夜パルスオキシメトリー、アクチグラム、簡易型呼吸記録装置、可搬型睡眠ポリグラフ装置など)
 - (4) 睡眠呼吸障害の確定診断検査である、終夜睡眠ポリグラフ検査について説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/27	水	3	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	臨床検査総論(1)(2)
9/27	水	4	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	生化学検査(1)(2)
10/4	水	3	臨床検査医学講座	阿保 徹 非常勤講師	検体採取法と保存法
10/4	水	4	臨床検査医学講座	阿保 徹 非常勤講師	末梢血液検査・凝固検査・血球数検査

10/11	水	3	臨床検査医学講座	小笠原 理恵 助教	便検査・髄液検査・便・髄液検査
10/11	水	4	臨床検査医学講座	小笠原 理恵 助教	尿検査
10/18	水	3	臨床検査医学講座	小笠原 理恵 助教	免疫学的検査
10/25	水	3	臨床検査医学講座	鈴木 啓二郎 准教授	輸血と造血幹細胞移植(1)
10/25	水	4	臨床検査医学講座	鈴木 啓二郎 准教授	輸血と造血幹細胞移植(2)
10/30	月	5	心・腎・内分泌内科学分科	小松 隆 准教授	心電図検査
11/1	水	3	睡眠医療学科	櫻井 滋 教授	睡眠検査(1)
11/1	水	4	睡眠医療学科	櫻井 滋 教授	睡眠検査(2)
11/8	水	3	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	呼吸機能検査・動脈血液ガス分析
11/8	水	4	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	臨床検査と横断的診療支援

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準臨床検査医学 4 版	高木康、山田俊幸 編	医学書院	2013
参	最新臨床検査の ABC	橋本信也 監修・編集	医学書院	2007
推	実践臨床検査医学	大久保昭行ほか編	文光堂	1998
推	一目でわかる臨床検査 第 2 版	松野一彦、新倉春男、前川真人 著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2011
推	臨床検査のガイドライン JSLM2015 ―検査値アプローチ・症候・疾患―	日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会 編	日本臨床検査医学会	2015

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	よくわかる輸血学 改訂版	大久保光夫、前田平生 著	羊土社	2010
推	睡眠呼吸障害 update 2011	井上雄一、山城義広 編著	ライフ・サイエンス	2011
推	Electrocardiography A to Z ～ 心電図のリズムと波を見極める～	磯部光章、奥村謙 監修	日本医師会	2015
推	不整脈診療クリニカルクエスト 200	平尾見三 編	診断と治療社	2015
推	不整脈概論—専門医になるための エッセンシャルブッカー	池田隆徳、山下武志 編	メジカルビュー社	2013

・ 成績評価方法

進級試験における筆記試験で、60 点以上を合格とする。

・ 特記事項・その他

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン (PC-LC9008E)	1	講義スライド作成用